

# 令和元年度 へき地・小規模校教育研究発表会



## 研究 主題

ふるさとに夢や誇りをもって、  
未来の創り手となる子供の育成

東京都教育委員会では、東京都へき地教育研究協議会との共催により、へき地・小規模校における教育課題の解決に向けた教育実践の成果を発表します。

この研究発表会を通して、広く教育関係者の関心を高め理解を深めるとともに、へき地・小規模校の課題を踏まえ、教職員が一体となって組織的に取り組む教育の在り方を明らかにします。

## 日時

令和元年 **8月6日(火)**

午後1時30分から午後4時30分まで

## 会場

国立オリンピック記念  
青少年総合センター  
(カルチャー棟 小ホール)

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1



## 研究発表会次第

- 1 開会
- 2 東京都教育委員会挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 研究発表及び協議会

### 大島町立つばき小学校

研究主題「大島の未来を切り拓く<sup>ひら</sup>人材の育成  
～SDGsの視点に立った郷土大島に根ざした  
学習を通して～」

### 八丈町立富士中学校

研究主題「自分の将来を見据えて、主体的に  
学習に取り組む生徒の育成～キャリア教育  
の推進を通して～」

- 5 全体研究協議
- 6 講演

演題「新学習指導要領の内容を踏まえた、へき地・小規模校教育の課題の解決」

講師 帝京大学教育学部教育文化学科教授 **増淵 達夫** 先生

## 参加 申込

都内公立学校関係者：別途通知による

一般の方：以下の問合せ先まで、電話、ファクシミリ又は電子メールで、

「所属」・「氏名」・「連絡先」をお伝えください。(7/31まで)

問合せ：東京都教育庁指導部指導企画課 電話 03-5320-6869 ファクシミリ 03-5388-1733

メールアドレス S9000020@section.metro.tokyo.jp

## 発表の概要

### 大島町立つばき小学校

「大島の未来を切り拓く人材の育成

～SDGsの視点に立った郷土大島に根ざした学習を通して～

大島町は、東京から約120km南の洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の島であり、自然や文化の豊かな町です。その中部地区に位置するつばき小学校は、単学級とはいえ100名を超える大島出張所管内では児童数が一番多い学校です。島しょ地区は、人口が少ない、教員の勤務期間が短いという状況の中、研究の継続性を図り、子供たちの外部へ発信する意欲を高め、郷土の未来を切り拓く人材を育成することが求められています。現状を踏まえた研究を目指し、充実した協議、継続性・持続性のある研究を進めてきました。SDGsの視点に立ち、地域と連携しながら授業改善と指導計画の改善に取り組んでいます。



三原山裏砂漠での校外学習

### 八丈町立富士中学校

「自分の将来を見据えて、主体的に学習に取り組む生徒の育成

～キャリア教育の推進を通して～

八丈町の学校は全て小規模校ですが、富士中学校のある坂下地区には島全体の児童・生徒の80%以上が居住しています。島内の中学校では最も規模が大きく、「自主」、「敬愛」、「根気」を校訓として教育活動に取り組んでいます。しかし、生徒は、自ら進んで課題を見付け、解決しようとする姿勢が十分身に付いていないなどの課題があると考えました。そこで、キャリア教育を充実させることを通じて生徒に目的意識をもたせ、主体的に学習に取り組ませることが、生徒の自己肯定感を高め、課題を解決することにつながるのではないかと考え、研究を進めています。



小学校での読み聞かせの様子

## 会場案内



### < 最寄り駅 >

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」下車  
(代々木公園方面出口) 徒歩約10分
- 京王バス  
○新宿駅西口(16番)より  
代々木五丁目バス停下車すぐ  
○渋谷駅西口(40番)より  
代々木五丁目バス停下車すぐ

主催 東京都教育委員会  
東京都へき地教育研究協議会